

競技注意事項

1 競技規則について

2023年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項による。

2 招集について

- ①第3ゲート（1500mスタート地点後方）に招集所を設置する。競技者は招集開始時刻に集合すること。
- ②円盤投・ハンマー投は、投てき場にて現地招集とする。
- ③招集開始及び完了時刻は競技日程に記載する。
- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
※ 第2競技場からスタジアムまでの距離が遠いので、競技者は時間に余裕を持って行動すること。
- ⑤招集完了5分前までに招集所で待機し、最終点呼を受けること。その際アスリートビブス（ナンバーカード）、競技用靴等の点検を受けること。
- ⑥招集は、本人が招集所において受けること。ただし、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、競技者係及び当該審判主任に申し出て了解を得ること。この場合代理人を認める。
- ⑦リレーに出場する競技者で、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、競技者係及び当該審判主任に申し出て了解を得ること。

3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ①アスリートビブス（ナンバーカード）は胸と背に1枚ずつ確実につけること。
女子選手のセパレートタイプのユニフォームについては、ナンバーが審判から見えるように4ヶ所で確実に留めること。
ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- ②トラック種目では、腰ナンバーを右腰後方につけること。
腰ナンバーは招集所にて配布するので、競技者各自が持ち出し、競技終了後はフィニッシュライン前方のゲート2で回収する。
- ③4×400mRにおいて2走、3走および4走の競技者はコーナートップ判定等のため、両腰に腰ナンバーをつけること。
- ③ランニングシャツの形状により、裾を外に出して出場する場合は、必ず腰ナンバーが見えるようにすること。

4 競技場で使用する競技用靴について

- ①スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。
いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。ピンの形状は全天候舗装の競技場で使用できる物とし、土のグラウンド用のピンを使用することは禁止する。
- ②靴底の厚さは以下のとおりとする。（このルールは2024年10月31日まで適用）

800m未満のトラック種目	20mm以内
800m以上のトラック種目	25mm以内
三段跳	25mm以内
三段跳以外のフィールド種目	20mm以内

- ③靴底の厚さの検定は必ず実施するものではないが、招集所審判長およびトラック・フィールド各審判長の判断により、検定を実施する場合がある。

5 棄権について

出場種目を棄権する場合は招集開始 15 分前までに、棄権する旨を招集所競技者係に申し出る。招集完了時刻に競技者が競技会場に来ておらず、同一時刻に他種目に出場する旨の連絡もない場合は、棄権したものとみなす。

6 練習について

- ①練習会場は第2陸上競技場を使用し、別に定める練習会場使用方法に従って、安全に留意して練習を行うこと。
- ②第2競技場のメインスタンド下雨天走路は、ジョギングと体操のみ使用を許可する。第2競技場のバックスタンド外側の雨天走路は、ドリルや流し等の使用を許可する。雨天走路は一方通行で使用すること。
- ③8時から競技開始15分前までは、カンセキスタジアムでの練習を許可する。トラックの使用区分は別に定める。ただし跳躍・投てきピット、芝生フィールド内での練習は認めない。
- ④カンセキスタジアムのバックスタンド下雨天走路は、8時から使用可とする。使用区分は別に定める。衝突事故に注意し、安全に使用すること。
- ⑤練習に際しては競技役員の指示に従って安全に練習すること。
- ⑥第2競技場の開放時間・場所については、栃木陸協 Web サイト等でも別途提示する。
- ⑦投てき練習については、競技場所での競技前の練習試技のみとする。
- ⑧カンセキスタジアム1階管理通路および2階の外周での練習は不可とする。総合運動公園内園路はジョギング程度なら可とする。(ただし集団での走行、リレーのバトンパスをしながらのジョギング等は禁止とする。) ジョギング以外の練習は禁止する。(メディシンボール投げやハードルを用いた練習等も禁止。)

7 競技者の入退場について

- ①招集後のスタジアム内への入場は、第3ゲート(1500mスタート地点付近)のみとする。競技終了後は競技の妨げとならないように注意し、最寄りのゲートから退場する。
- ②競技開始以降のスタジアム内競技場所への出入りは競技者のみ許可する。付添人・指導者等の入場は不可とする。
- ③トラック競技に出場する競技者は、フィニッシュ後はバックストレート側を通過してスタート地点に戻る。フィニッシュ後にメインスタンド前を通らないこと。
- ④フィールド競技者も他の競技の妨げとならないよう、係員の指示に従うこと。

8 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順等について

- ①トラック競技の予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示すので、審判員の指示に従うこと。
- ②トラック競技の決勝の走路順は、主催者が抽選し Web サイト等に掲示する。
- ③タイムレース (TR) の決勝進出者はタイム順に 8 人とする。
- ④トラック競技のプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは、下記の方法で決定する。
100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mR の同タイム者(チーム)については、レーンに余裕がある限り次のラウンドに進出させる。レーンに余裕がない場合は、同タイム者(チーム)または代理人によって抽選する。

9 トラック競技について

- ①WA 競技規則 TR16 により、不正スタートをした競技者は 1 回で失格とする。
- ②**スタート時の不適切行為については、WA 競技規則 TR16 を適用する。**
- ③男子 5000m・女子 3000m 競技で人数が多い場合には、グループスタートとする。

- ④競技運営上、男女 5000mW 競技において、スタートから 35 分で最終周回に入っていない選手は、競技終了とする。
- ⑤リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を各ラウンド第 1 組の招集完了時刻の 1 時間前までに T I C に提出する。
- ⑥リレー競技に出場するチームは、原則として同一ユニフォームで参加しなければならない。ただし、同一のチームと判別可能であれば、形状が異なるユニフォームを着用しても良い。

10 跳躍競技（高さ・踏切板の距離）について

（※審判長の判断で、変更することもある。）

種目		練習	試 技	
走高跳	男子	1.55	1.60～1.65～1.70～1.75～1.80～1.85～1.90～1.95・以後 3cm	
		1.80		
	女子	1.30		
		1.50		1.35～1.40～1.45～1.50～1.55・以後 3cm
棒高跳	男子	2.50	2.60～2.80～3.00～3.10～3.20～3.30・以後 10cm (5cm)	
		3.50		
		4.00		
	女子	1.70		1.80～2.00～2.10・以後 10cm (5cm)
		2.20		

- ①上記以後の高さについては、跳躍審判長の指示による。
- ②第 1 位決定のバーの上げ下げは走高跳 2 cm、棒高跳 5 cm とする。
- ③三段跳びの踏切位置は、男子 11m、女子 9m とする。

11 競技用器具について

- ①競技に使用する用器具は、検査を受け合格したものについてのみ使用できる。ポールの検査は、招集後現地にて行う。
- ②やりの検査については、競技開始時刻の 2 時間前～1 時間 30 分前の間に、カンセキスタジアムのゲート 4 外側の検査場に持参すること。時間外の検査は受け付けない。
検査で合格したやりについては、主催者にて預かり、主催者のものとして使用する。
- ③リレーや走高跳で使用するマーカー（テープ）は、競技者が各自で準備すること。

12 入賞・得点について

- ①各種目入賞は第 8 位までとする。
- ②各種目の得点は、1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、4 位 5 点、5 位 4 点、6 位 3 点、7 位 2 点、8 位 1 点とする。
- ③男子及び女子別の合計得点によって、学校順位を決定する。
（同点の場合は上位種目の多い学校を上位とする。）

13 表彰について

- ①学校対校男女別第 8 位まで賞状を授与する。賞状は T I C にて配布する。
- ②種目別第 3 位までを授与する。賞状は T I C にて配布する。

14 抗議について

WA 競技規則 TR8 による。

15 助力について

- ①競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出ること。

- ②ビデオ装置、音楽プレーヤー、トランシーバー、携帯電話、スマートフォン、その他の電子機器を競技場内に持ち込んではいけません。
- ③助言または映像機器の視聴は、競技運営並びに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリアに限り認める。ただし、映像機器類の手渡しや吊り下げ行為は認めない。

16 警告について

不当な行為をした競技者には、当該審判長から警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことで競技者に知らされる。

17 プログラム訂正について

プログラムに訂正がある場合は大会1日目の競技開始1時間前までに、T I Cに申し出る。

18 補助員協力について

参加校の補助員は、競技開始1時間前までにT I Cにて受付を行う。

19 関東選抜新人大会について

- ①本大会の各種目3位（3人・3チーム、女子3000mSCは除く）まで、関東選抜新人大会の出場権を得る。
- ②トラック競技で、第3位同タイム者（チーム）が出た場合は、同タイム者（チーム）または代理人による抽選で出場権を決定する。但し、1/1000秒以上の差があれば着差ありとする。
- ③関東選抜新人大会の出場権獲得者が出場を辞退した場合は、次点順位者が出場権を得る。

20 その他

- ①T I Cをスタジアム2FのAゲート内に設置する。T I Cでは、参加団体受付、オーダー用紙の取扱い、競技に関する抗議の受付、プログラム訂正の受付、遺失物保管などを行う。
- ②競技中の傷病などについては、主催者が応急手当をするが、以後の責任は負わない。
- ③各チームのスタジアム内待機場所については、主催者が指定した場所とする。コンコース内にテントを設営することは認めない。また競技場外の公園敷地でのテント設営は一切禁止。
- ④スタジアムでの横断幕設置は、観客席最前列の手すりにひもで縛って設置すること。ただし、メインスタンドおよび1～4ゲート上の設置は許可しない。また、競技の妨げとなる状態で設置しないこと。横断幕の縦の長さが長く、競技場内の競技者の移動や競技の妨げになる場合には、大会運営本部の判断で撤去する場合がある。なお、のぼり旗は全面禁止。
- ⑤スタジアム内1Fのトイレは、100mスタート付近の正面スタンド内トイレを使用すること。出入りについては100mスタート付近からの出入りに限定する。
- ⑥更衣室については、男女ともスタジアム2Fトイレ内の更衣スペース等を使用すること。
- ⑦競技終了後の競技者に限り、メインスタンド1階のシャワー室の使用を許可する。
- ⑧スタジアム2FコンコースのAゲート及びCゲートに氷捨て場を設置する。アイシングなどで余った氷は氷捨て場に捨てること。またWCや公園敷地内等に氷を捨てないこと。
- ⑨各競技の結果はWeb上の速報サイトに掲載する。
- ⑩競技中に発雷等で天候が悪化した場合は、その時点で競技会を中止する場合もある。
- ⑪各競技の開始時刻や招集時刻については、プログラムに記載されている競技日程が正式なものである。競技日程等については、必ずプログラムに記載されている事項を確認すること。

21 災害時の避難場所

会場責任者の判断により避難の放送が入るので、避難誘導係の指示に従って落ち着いて行動すること。雷発生時などの非常時には、競技役員の指示にて屋内に避難する。